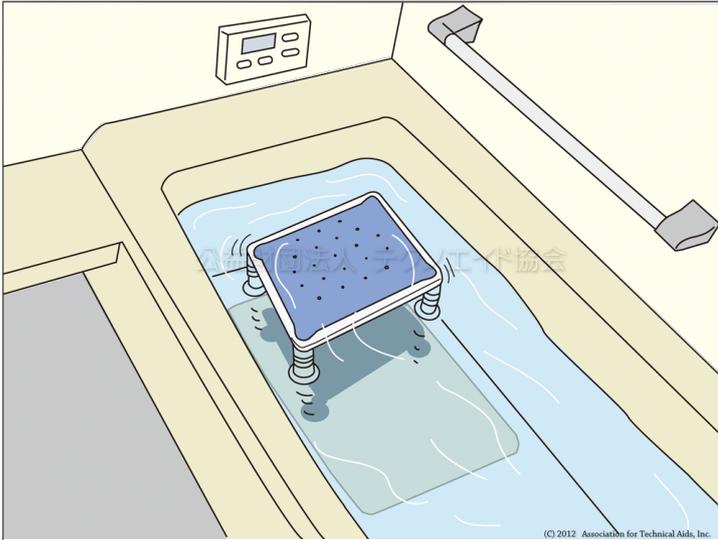


Case : 104

湯をはり始めたところ、浴槽内いすが水面に浮いてくる

### 場面の説明

誤ってすべり止めマットの上に吸盤タイプの浴槽内いすを設置していたため、吸盤が機能しなかった



利用シーン	 入浴
主な利用場所	 浴室・脱衣所
介護保険の種目	 入浴補助用具
分類コード (CCTA95)	093303 (入浴用チェア)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

### 解説

吸盤タイプの浴槽内いすに起こる事例です。この事例のように、すべり止めマットの上に設置してしまう誤りのほか、吸盤の固定が不十分だったことや、吸盤自体の劣化なども原因として考えられます。また施設などでは吐水の圧力で動いてしまうこともあります。正しい使い方に加え定期的なメンテナンスと必要に応じた部品交換が大切です。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：すべり止めマットの上に設置できると勘違いしていた  
モノ：繰り返し使用し吸盤が劣化していた

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 104

湯をはり始めたところ、浴槽内いすが水面に浮いてくる

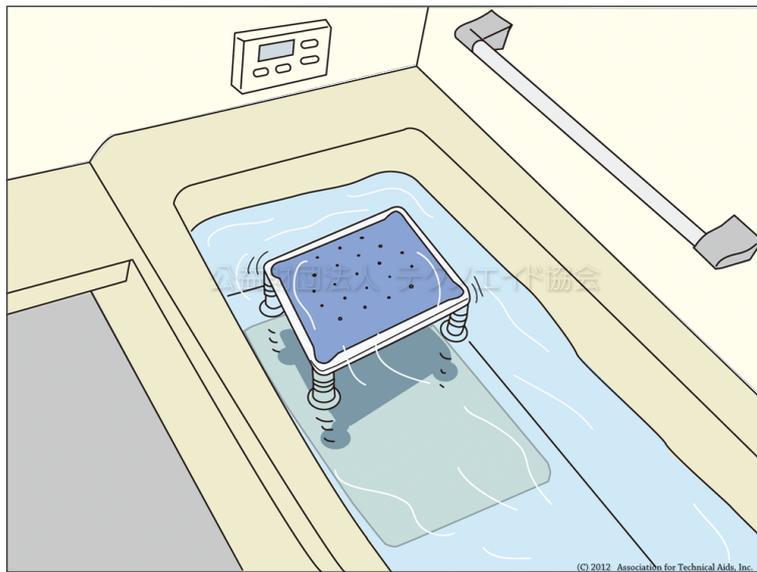
事例詳細



回答前に見ないこと

### 場面の説明

誤ってすべり止めマットの上に吸盤タイプの浴槽内いすを設置していたため、吸盤が機能しなかった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ